MOVE THE WORLD FORWARD MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES GROUP

2026年度第2四半期決算説明資料

2026年11月6日

三菱重工業株式会社

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

三菱重工

目次

1． 決算のポイント 3-5

2． 2026年度第2四半期決算実績 6-14

- 連結経営成績サマリー
- 連結財政状態
- 事業利益増減分析
- セグメント情報

3． 2026年度業績見通し 15-20

- 業績見通しサマリー
- 事業利益増減分析
- セグメント情報

4． 補足資料 21-27

＜留意事項＞

- 前年度実績については、損益計算書および貸借対照表ともに、本年5月1日付けで当社連結対象から除外した旧三菱ロジスネクスト株式会社およびその子会社・関連会社に係る事業（以降“ML”と表記）に関する数値を、国際会計基準（IFRS）の規定に基づき組替え表示しています
- 本年4月1日付の組織再編により、「物流・冷熱・ドライブシステムセグメント」の名称を「インダストリアル・ソリューションセグメント」に改称するとともに、「データセンター＆エネルギーマネジメント部」を同セグメントへ移管しました。前年同期実績には、この移管を遡及して反映しています

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

１．　決算のポイント

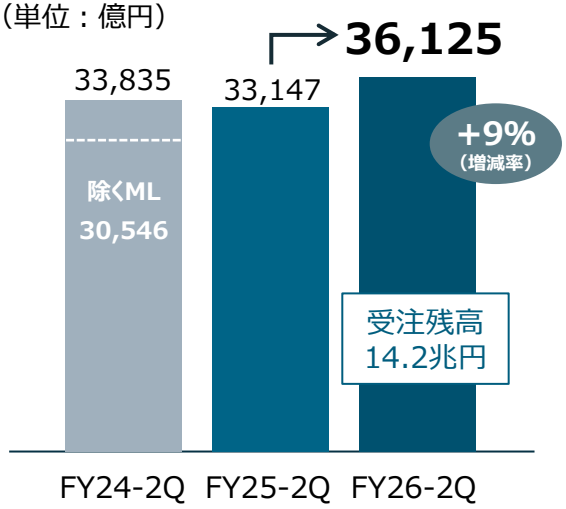
© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2026年度第2四半期決算実績

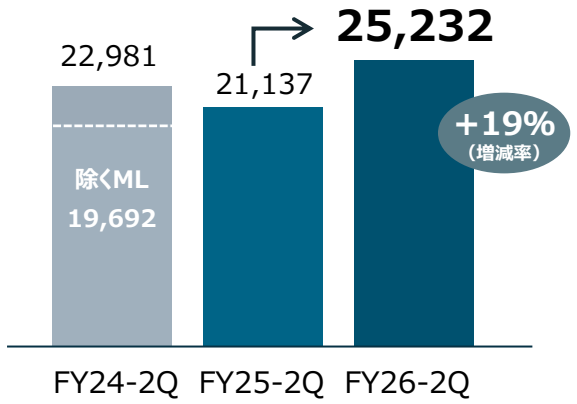
三菱重工

受注高

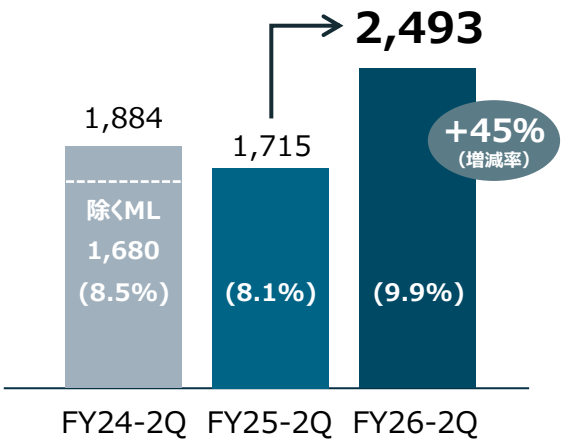
(単位：億円)



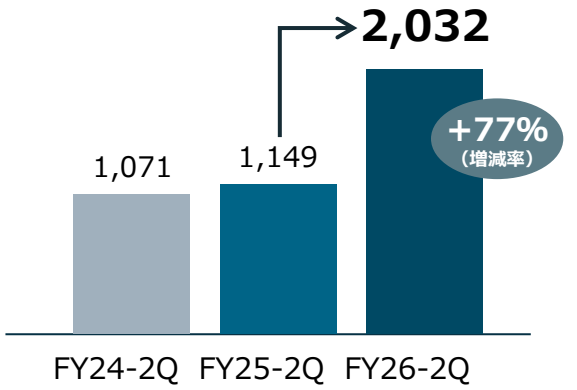
売上収益



事業利益 ( )は利益率



当期利益 (親会社所有者帰属)



EBITDA
3,134億円
(YoY +837億円)

EBITDAマージン
12.4%
(YoY +1.6 pts)

フリーCF
4,683億円
(YoY +3,172億円)

営業CF
3,945億円
(YoY +1,866億円)

有利子負債
4,827億円
(YoY △ 1,249億円)

純有利子負債
△12,239億円
(YoY △11,156億円)

D/Eレシオ
0.15
(YoY △0.09)

自己資本比率
38.7%
(YoY +3.1 pts)

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2026年度第2四半期決算実績ハイライト

三菱重工

- **受注高：36,125億円**（前年同期比：+2,978億円、9%増）
  エナジー、プラント・インフラ、インダストリアル・ソリューションの3セグメントにおいて前年同期比増加。主な事業別では、GTCC、原子力、製鉄機械が大きく伸ばした。
  受注残高は、前年度末から9,880億円増の14兆2,256億円となった

- **売上収益：25,232億円**（前年同期比：+4,095億円、19%増）
  全セグメントにおいて前年同期比増収。
  主な事業別では、GTCC、防衛・宇宙、原子力が大きく伸ばした

- **事業利益：2,493億円**（前年同期比：+777億円、45%増）
  エナジー、インダストリアル・ソリューション、航空・防衛・宇宙の3セグメントにおいて前年同期比増益。主な事業別では、GTCC、原子力が大きく伸ばした

- **当期利益：2,032億円**（前年同期比：+883億円、77%増）
  事業利益の増加に加え、為替差益・金融収益もあり、前年同期比で大幅な増益となった

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2．　2026年度第2四半期決算実績

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

連結経営成績サマリー

三菱重工

（単位：億円）	FY2025-2Q【A】（利益率）	FY2026-2Q【B】（利益率）	増減【B】-【A】（利益率）	（増減率）
受注高	33,147	36,125	+2,978	(+9.0%)
売上収益	21,137	25,232	+4,095	(+19.4%)
事業利益	1,715 (8.1%)	2,493 (9.9%)	+777 (+1.8 pts)	(+45.3%)
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,149 (5.4%)	2,032 (8.1%)	+883 (+2.6 pts)	(+76.9%)
EBITDA	2,296 (10.9%)	3,134 (12.4%)	+837 (+1.6 pts)	(+36.5%)
フリー・キャッシュ・フロー	1,510	4,683	+3,172	
営業キャッシュ・フロー	2,079	3,945	+1,866	
投資キャッシュ・フロー	△568	738	+1,306	

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

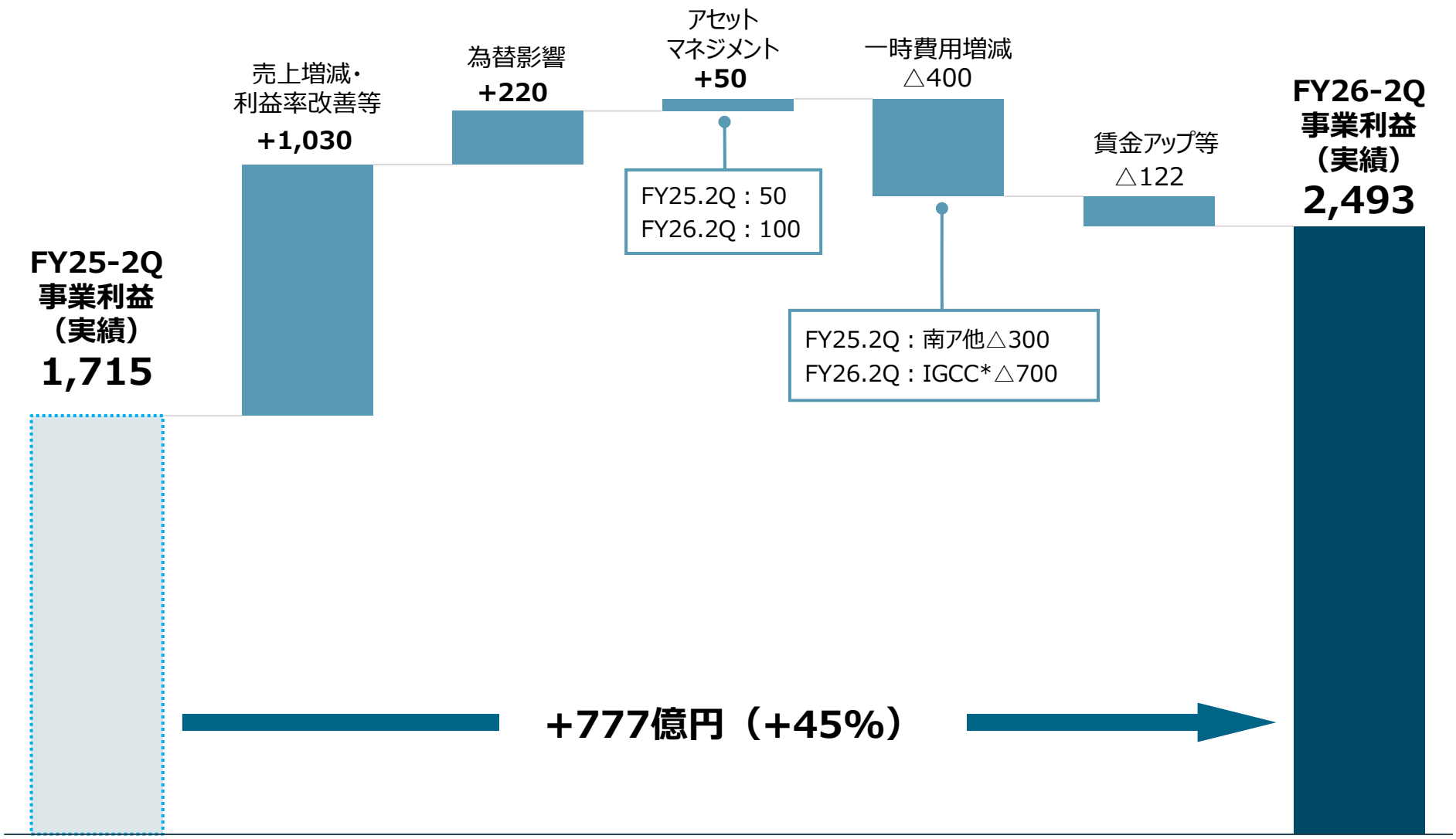
連結財政状態

三菱重工

（単位：億円）	FY25末	FY26-2Q末	増減
売上債権（営業債権及び契約資産）	21,277	20,168	△1,109
棚卸資産	10,418	12,141	+1,722
その他流動資産	22,707	21,912	△794
（うち現金及び現金同等物）	(13,348)	(17,067)	(+3,718)
（うち売却目的で保有する資産）	(5,484)	-	(△5,484)
固定資産	9,783	9,884	+101
投資等	18,509	19,035	+526
資産合計	82,697	83,142	+445
営業債務	10,008	9,484	△523
契約負債	21,618	25,733	+4,114
その他	13,628	10,289	△3,338
（うち売却目的で保有する負債）	(2,819)	-	(△2,819)
有利子負債	5,157	4,827	△330
資本	32,284	32,807	+523
（うち親会社の所有者に帰属する持分）	(30,885)	(32,170)	(+1,284)
負債及び資本合計	82,697	83,142	+445

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

事業利益増減分析



（単位：億円）

* Integrated Coal Gasification Combined Cycle Plant（石炭ガス化複合発電プラント） ： 2021 年に納入した勿来・広野IGCCプラント

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

決算実績　セグメント別内訳

三菱重工

（単位：億円）

	受注高			売上収益			事業利益		
	FY25* 2Q	FY26 2Q	増減	FY25* 2Q	FY26 2Q	増減	FY25* 2Q	FY26 2Q	増減 (増減率)
エナジー	19,812	23,042	+3,230	8,710	11,225	+2,515	807	1,451	+643 (+80%)
プラント・インフラ	4,906	6,895	+1,988	4,159	4,298	+138	446	414	△31 (△7%)
インダストリアル・ソリューション	3,254	3,756	+501	3,141	3,526	+385	67	147	+80 (+119%)
航空・防衛・宇宙	5,450	2,968	△2,481	5,388	6,334	+946	603	763	+159 (+27%)
その他及び全社又は消去	△277	△537	△260	△262	△152	+110	△209	△284	△75 (-)
合計	33,147	36,125	+2,978	21,137	25,232	+4,095	1,715	2,493	+777 (+45%)

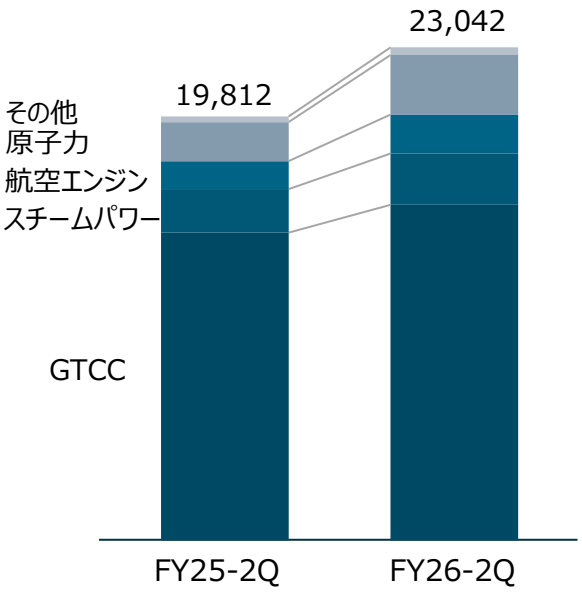
(*) P.2に記載した要領に基づき、2025年度の実績を組み替えて表示

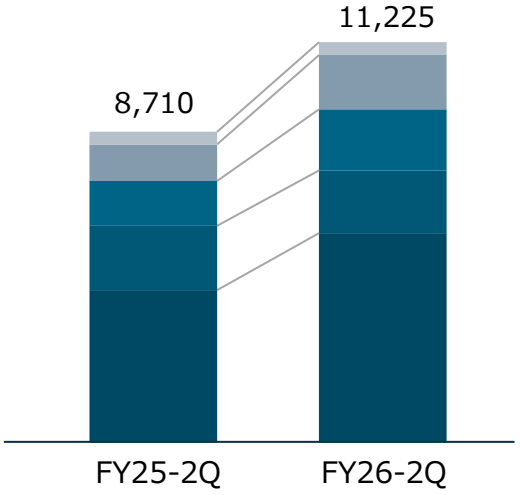
© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

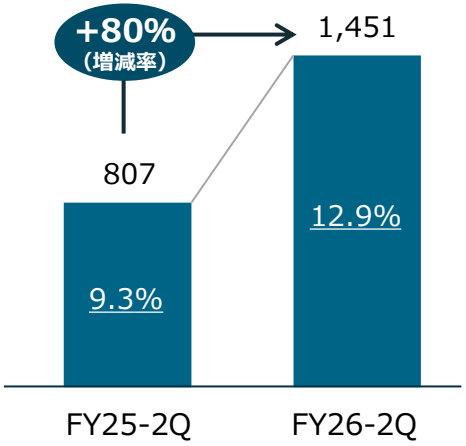
セグメント別決算実績 <エナジー>

三菱重工

（単位：億円）	受注高		売上収益		事業利益	
通期	39,367	44,000 (前回 35,500)	20,626	26,500 (前回 22,000)	2,672	3,800 (前回 3,400)
2Q末進捗率	50%	52%	42%	42%	30%	38%







2Q実績 前年同期比

増益：
・GTCC
・航空エンジン
・原子力

減益：
・スチームパワー

主な事業	受注高 FY25-2Q	受注高 FY26-2Q	売上収益 FY25-2Q	売上収益 FY26-2Q
GTCC	14,387	15,687	4,273	5,871
スチームパワー	2,030	2,396	1,803	1,759
航空エンジン	1,311	1,821	1,257	1,713
原子力	1,824	2,784	1,027	1,521

今回のポイント

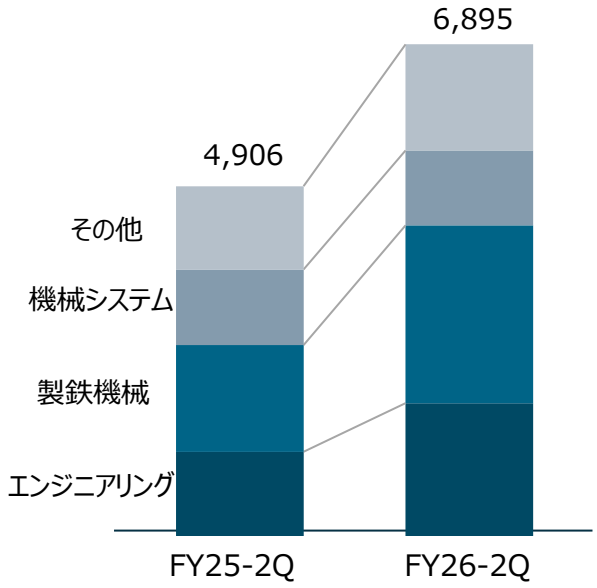
- GTCCは主に北米、アジアで受注が好調。売上増に加え、採算改善等により増益
- スチームパワーはIGCCで損失を計上
- 航空エンジンは主にMROの受注、売上が増加
- 原子力は受注、売上ともに堅調に推移
- 受注・売上・事業利益の通期見通しを上方修正

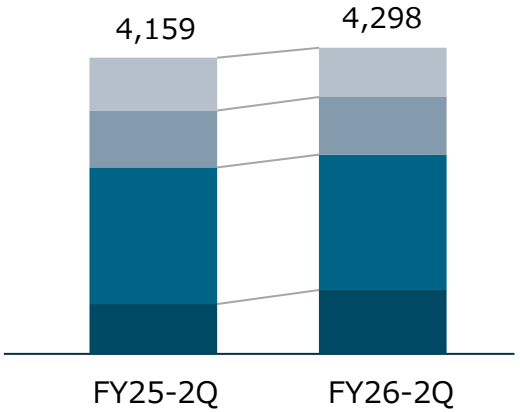
© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

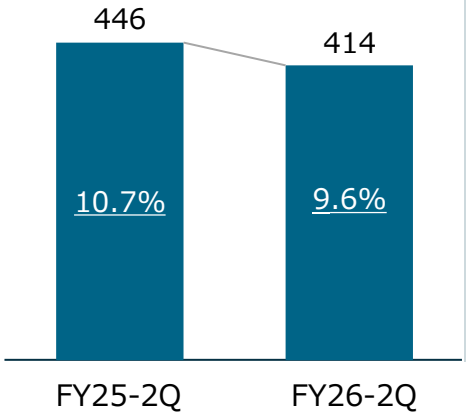
セグメント別決算実績 <プラント・インフラ>

三菱重工

（単位：億円）	受注高		売上収益		事業利益	
通期	11,580	11,000 (前回 10,000)	8,808	10,000 (前回 9,500)	841	900
2Q末進捗率	42%	63%	47%	43%	53%	46%







2Q実績 前年同期比

減益：
- エンジニアリング
- 製鉄機械
- 機械システム

主な事業	受注高		売上収益	
	FY25-2Q	FY26-2Q	FY25-2Q	FY26-2Q
エンジニアリング	1,181	1,863	704	901
製鉄機械	1,496	2,494	1,916	1,899
機械システム	1,061	1,050	798	808

今回のポイント

- 受注は、エンジニアリング、製鉄機械および商船（その他に含む）が好調
- 事業利益は、前期の高採算工事のリバウンド等により若干の減益
- 受注・売上の通期見通しを上方修正

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

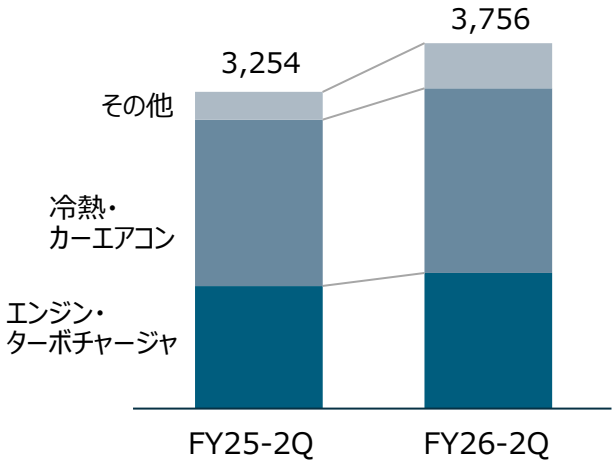
セグメント別決算実績 <インダストリアル・ソリューション>

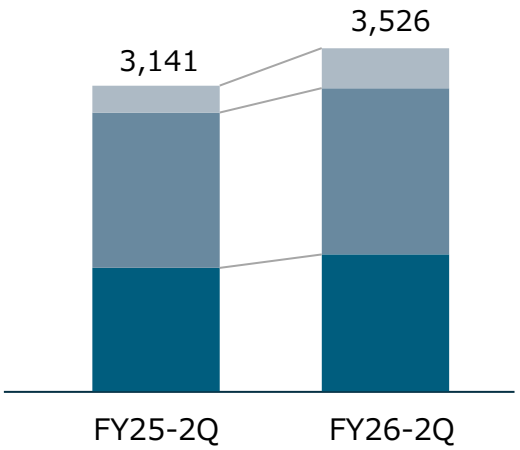
三菱重工

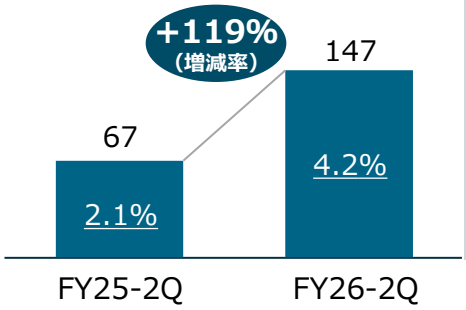
（単位：億円）	受注高*		売上収益*		事業利益*	
通期	7,047	7,500	6,999	7,500	△20	300
2Q末進捗率	46%	50%	45%	47%	-	49%

2Q実績 前年同期比

増益：
・エンジン







今回のポイント

- 受注は、エンジンのアジア向けが好調、冷熱は空調エンジニアリング事業等が堅調
- 事業利益は、エンジンの増収効果や、為替円安の影響により増益

主な事業	受注高		売上収益	
	FY25-2Q	FY26-2Q	FY25-2Q	FY26-2Q
エンジン・ターボチャージャ	1,261	1,393	1,268	1,406
冷熱・カーエアコン	1,708	1,898	1,596	1,709

(*)FY25実績は、2026年4月1日付の組織再編の影響を2025年度に遡り反映した金額を記載

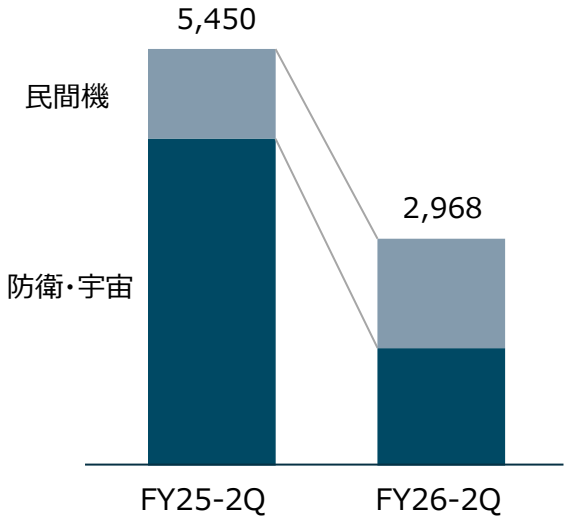
© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

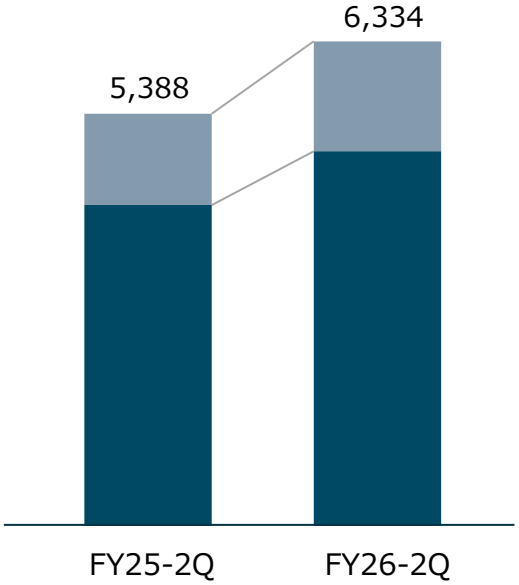
セグメント別決算実績 <航空・防衛・宇宙>

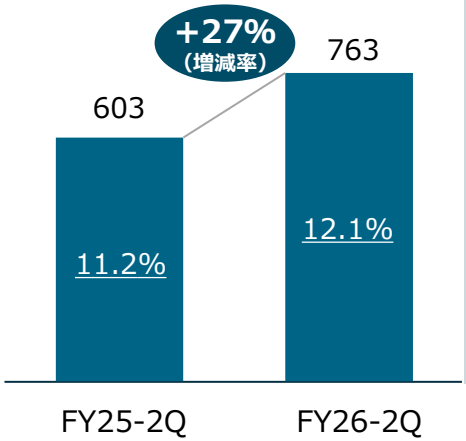
三菱重工

（単位：億円）

	受注高		売上収益		事業利益	
通期	19,294	18,000 (前回 17,500)	13,938	16,000 (前回 15,000)	1,515	1,800 (前回 1,700)
2Q末進捗率	28%	16%	39%	40%	40%	42%







2Q実績 前年同期比

増益：
・防衛・宇宙
・民間機

主な事業	受注高		売上収益	
	FY25-2Q	FY26-2Q	FY25-2Q	FY26-2Q
防衛・宇宙	4,276	1,538	4,193	4,896
民間機	1,173	1,429	1,194	1,438

今回のポイント

- 防衛・宇宙は前年同期の大型受注のリバウンドで受注が減少するも、順調な工事の進捗により増収増益
- 民間機は出荷機数の増加により増収増益
- 受注・売上・事業利益の通期見通しを上方修正

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

3． 2026年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
従いまして、この業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。
実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。
実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

業績見通しには、中東情勢の影響を含めておりません。
足許の受注やサプライチェーン等への直接的な影響は限定的ですが、情勢は流動的であり、引き続き状況を注視して参ります。

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

業績見通しサマリー

三菱重工

前回公表（2026年8月4日）から変更あり

前提為替レート：
1ドル＝150円、1ユーロ＝180円

（単位：億円）

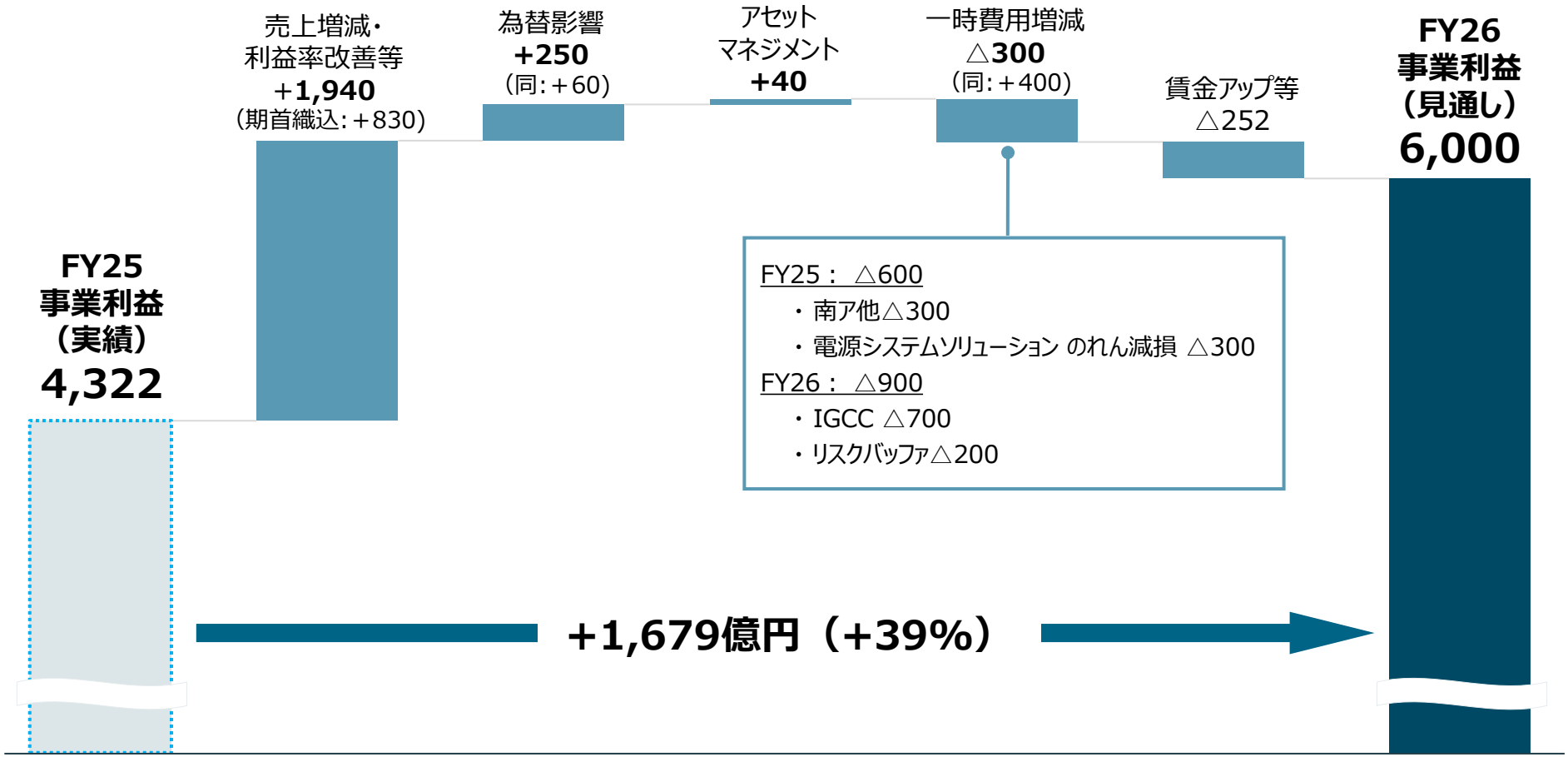
	2025年度（利益率）	2026年度（利益率） 前回見通し	2026年度（利益率） 今回見通し	2025年度比増減（利益率）	（増減率）
受注高	76,536	70,000	**80,000**	+3,463	(+4.5%)
売上収益	49,741	54,000	**60,000**	+10,258	(+20.6%)
事業利益	4,322 (8.7%)	5,400 (10.0%)	**6,000** **(10.0%)**	+1,677 (+1.3 pts)	(+38.8%)
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,321 (6.7%)	3,800 (7.0%)	**4,400** **(7.3%)**	+1,078 (+1.4 pts)	(+32.5%)
ROE	12.2%	12%	**14%**	+1.8 pts	
EBITDA	5,537 (11.1%)	6,600 (12.2%)	**7,200** **(12.0%)**	+1,662 (+0.9 pts)	(+30.0%)
フリー・キャッシュ・フロー	8,934	6,000	**8,000**	△934	
配当	25円 中間12円/期末13円	29円 中間14円/期末15円	**29円** **中間14円/期末15円**	+4 円 中間＋2円/期末＋2円	
自己株式取得	-	-	**3,000** **（上限）**	詳細は、本日発表の「自己株式取得に係る事項の決定および自己株式の消却に関するお知らせ」を参照下さい	

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

事業利益増減分析

三菱重工

- GTCC、原子力、防衛を中心に、当初想定を上回って順調に進捗
  - ➔ 事業利益7,000億円を超えて成長を続ける基礎を確認



（単位：億円）

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

業績見通し　セグメント別内訳

三菱重工

前回公表（2026年8月4日）から変更あり

（単位：億円）

	受注高				売上収益				事業利益			
	FY25*実績	FY26見通し		FY25比増減	FY25*実績	FY26見通し		FY25比増減	FY25*実績	FY26見通し		FY25比増減（増減率）
		前回	今回			前回	今回			前回	今回	
エナジー	39,367	35,500	**44,000**	+4,632	20,626	22,000	**26,500**	+5,873	2,672	**3,400**	**3,800**	+1,127 (+42%)
プラント・インフラ	11,580	10,000	**11,000**	△580	8,808	9,500	**10,000**	+1,191	841	**900**	**900**	+58 (+7%)
インダストリアル・ソリューション	7,047	7,500	**7,500**	+452	6,999	7,500	**7,500**	+500	△20	**300**	**300**	+320 (-)
航空・防衛・宇宙	19,294	17,500	**18,000**	△1,294	13,938	15,000	**16,000**	+2,061	1,515	**1,700**	**1,800**	+284 (+19%)
その他及び全社又は消去	△753	△500	**△500**	+253	△631	0	0	+631	△685	**△900**	**△800**	△114 (-)
合計	76,536	70,000	**80,000**	+3,463	49,741	54,000	**60,000**	+10,258	4,322	**5,400**	**6,000**	+1,677 (+39%)

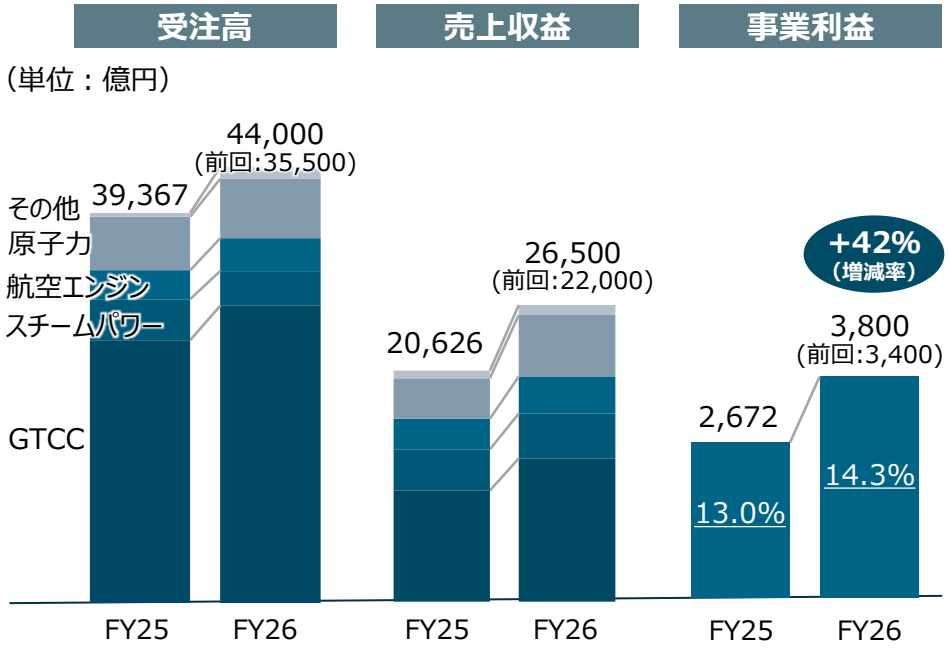
(*)FY25実績は、2026年4月1日付の組織再編の影響を2025年度に遡り反映した金額を記載

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別業績見通し <エナジー、プラント・インフラ>

三菱重工

エナジー



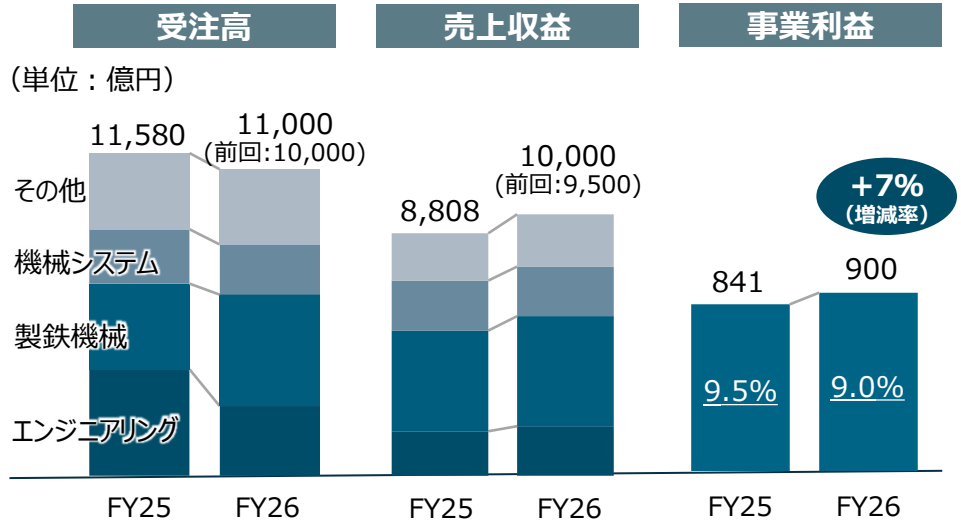
業績見通し修正のポイント

【受注】 GTCCでは有望商談を追加、原子力では燃料サイクル関連工事が増加するなど、全てのサブセグメントで上方修正

【売上・利益】 順調な工事進捗を踏まえ、売上を上方修正すると共に、GTCCの採算改善等を加味し、事業利益見通しを引き上げ

	受注高		売上高	
	FY25	FY26見通し	FY25	FY26見通し
GTCC	26,526	30,000 (前回:24,000)	9,922	12,800 (前回:11,000)
スチームパワー	4,137	3,500 (前回:3,300)	3,675	4,000 (前回:3,300)
航空エンジン	2,917	3,300 (前回:2,600)	2,741	3,300 (前回:2,600)
原子力	5,406	6,000 (前回:4,500)	3,611	5,500 (前回:4,000)

プラント・インフラ



業績見通し修正のポイント

【受注】 エンジニアリングは第2四半期の中東での大型受注、製鉄機械は有望商談の追加に伴い、上方修正

【売上】 順調な工事進捗を反映

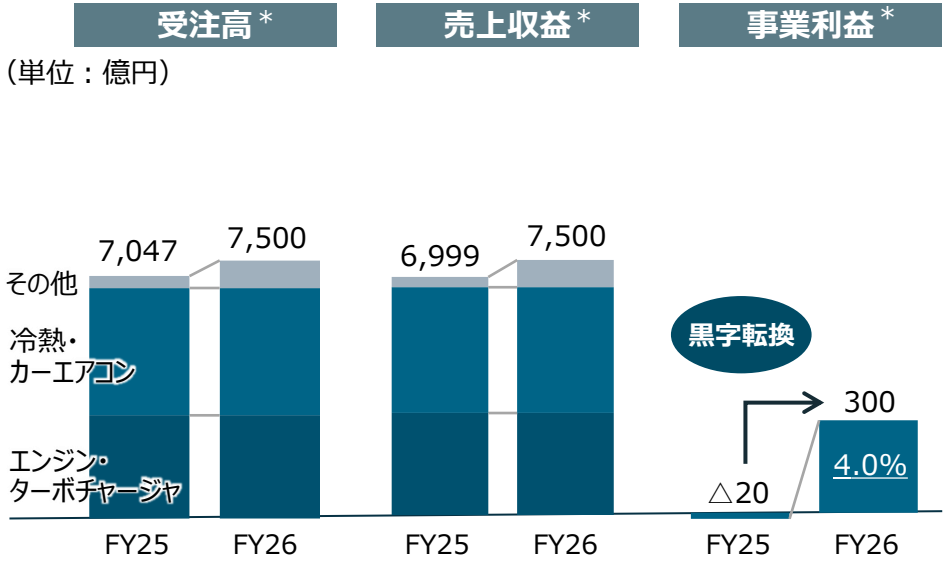
	受注高		売上高	
	FY25	FY26見通し	FY25	FY26見通し
エンジニアリング	3,819	2,500 (前回:1,800)	1,616	1,800
製鉄機械	3,076	4,000 (前回:3,500)	3,656	4,000
機械システム	1,952	1,800	1,819	1,800

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別業績見通し <インダストリアル・ソリューション、航空・防衛・宇宙>

三菱重工

インダストリアル・ソリューション



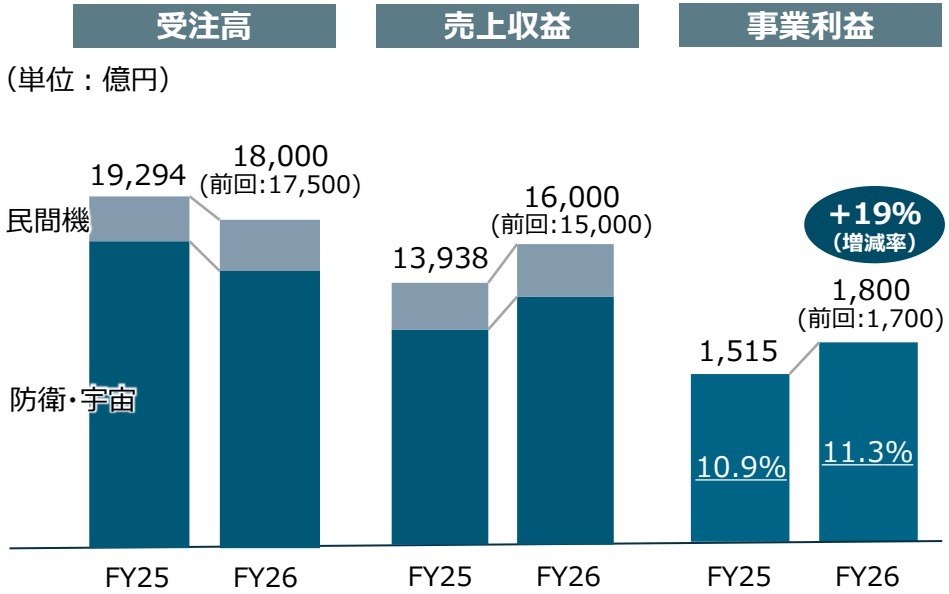
業績見通し修正のポイント

※業績見通しの修正無し

	受注高		売上高	
	FY25	FY26見通し	FY25	FY26見通し
エンジン・ターボチャージャ	2,850	3,000	2,856	3,000
冷熱・カーエアコン	3,610	3,700	3,531	3,700

(*)FY25実績は、2026年4月1日付の組織再編の影響を2025年度に遡り反映した金額を記載

航空・防衛・宇宙



業績見通し修正のポイント

【受注】 上半期の実績を踏まえ、それぞれ上方修正

【売上・利益】 防衛・宇宙は順調な工事進捗、民間機は出荷実績・生産計画を踏まえ、売上を上方修正。これに伴い、事業利益の見通しも引き上げ

	受注高		売上高	
	FY25	FY26見通し	FY25	FY26見通し
防衛・宇宙	16,826	15,200 (前回:15,000)	11,445	13,200 (前回:12,500)
民間機	2,468	2,800 (前回:2,500)	2,492	2,800 (前回:2,500)

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

4. 補足資料

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

三菱重工

大型ガスタービン 受注台数･契約残台数

	FY25-2Q	FY25通期	FY26-2Q
米州	12	19	11
アジア	11	12	8
EMEA	-	4	-
その他	-	-	-
受注台数 合計	23 (10GW)	35 (16GW)	19 (8GW)
契約残台数	67 (29GW)	74 (33GW)	83 (37GW)

【参考】中国の協業先企業における受注台数

	FY25-2Q	FY25通期	FY26-2Q
受注台数	4	13	4

民間航空機 出荷機数

777	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY25	6	8	4	5	23
FY26	7	7			14

777X	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY25	0	3	5	1	9
FY26	1	7			8

787	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY25	18	17	16	22	73
FY26	21	22			43

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

補足資料　参考データ

三菱重工

受注残高

（単位：億円）	FY25末	FY26-2Q末
エナジー	69,832	80,640
プラント・インフラ	21,028	23,270
インダストリアル・ソリューション(*1)	875	1,088
航空・防衛・宇宙	40,632	37,247
その他及び全社又は消去(*1)	8	10
合計	132,376	142,256

未確定外貨

（億通貨単位）	USD	EUR
未確定外貨（事業利益）	22	5
未確定外貨（金融収益費用）	24	-
前提為替レート	150.0	180.0

為替レート（売上計上平均レート）

	FY25-2Q	FY26-2Q
USドル（円/USドル）	146.4	158.1
ユーロ（円/ユーロ）	165.8	183.7

研究開発費、減価償却費、設備投資

（単位：億円）	FY25-2Q	FY26-2Q	FY26見通し
研究開発費（広義）(*2)	1,041	1,414	3,500
減価償却費	580	641	1,200
設備投資(*3)	695	780	2,100

販売費及び一般管理費

（単位：億円）	FY25-2Q	FY26-2Q
販管費	2,983	3,341

エナジーセグメント 売上AS比率（累計）

	FY25-2Q	FY26-2Q
GTCC	51%	42%
スチームパワー	78%	82%
航空エンジン	78%	76%
原子力	71%	71%
エナジー計	64%	59%

(*1) FY25実績は、2026年4月1日付の組織再編の影響を2025年度に遡り反映した金額を記載
(*2) 研究開発費には、受託研究等の費用を含む
(*3) 設備投資には、対価を得て行う生産準備役務等のために取得した固定資産に対する支出を含む

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

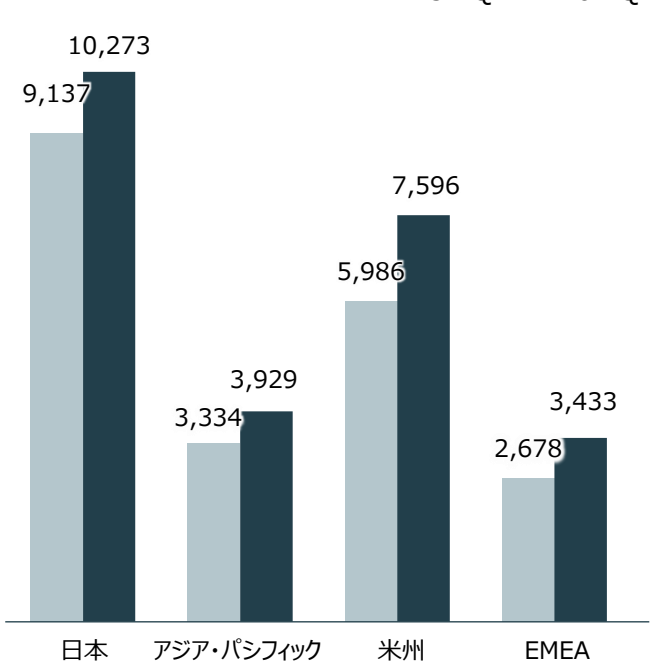
補足資料　地域別売上高

三菱重工

全社

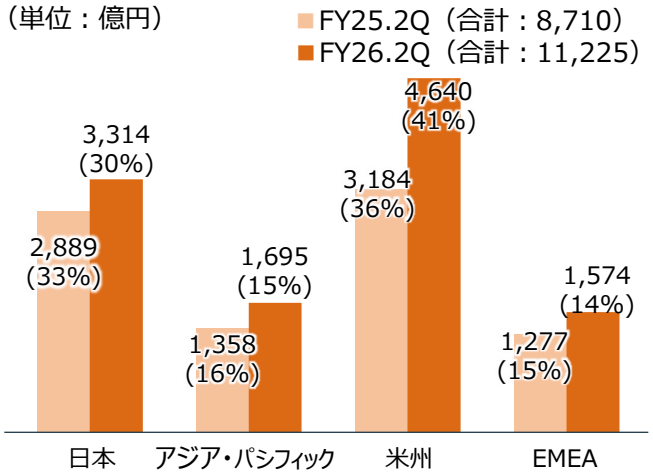
（単位：億円）

	FY25-2Q		FY26-2Q	
日本	9,137	(43%)	10,273	(41%)
アジア・パシフィック	3,334	(16%)	3,929	(16%)
米州	5,986	(28%)	7,596	(30%)
EMEA	2,678	(13%)	3,433	(14%)
合計	21,137		25,232	



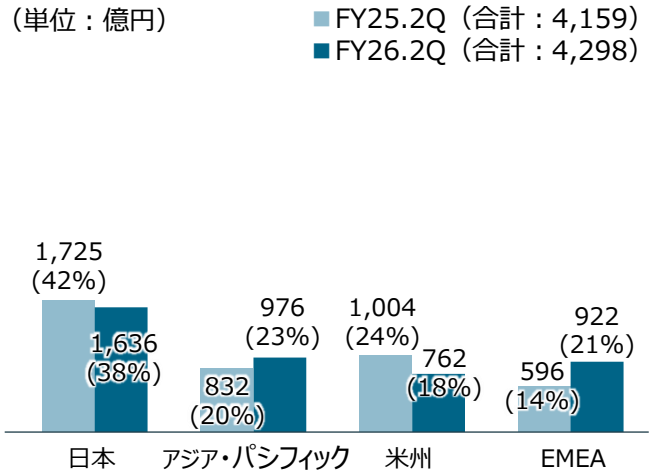
エナジー

（単位：億円）



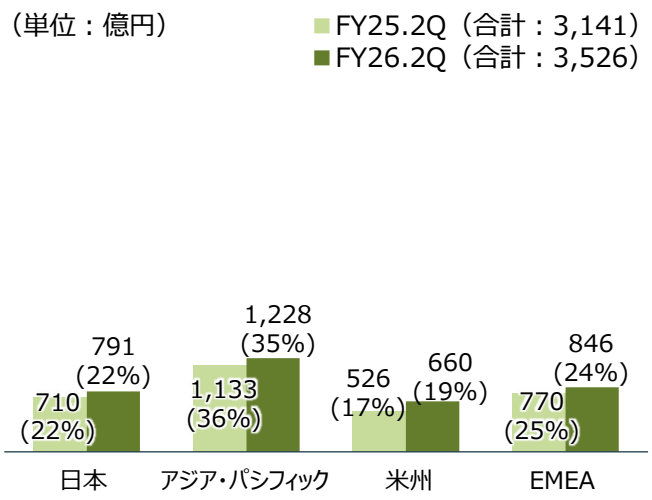
プラント・インフラ

（単位：億円）



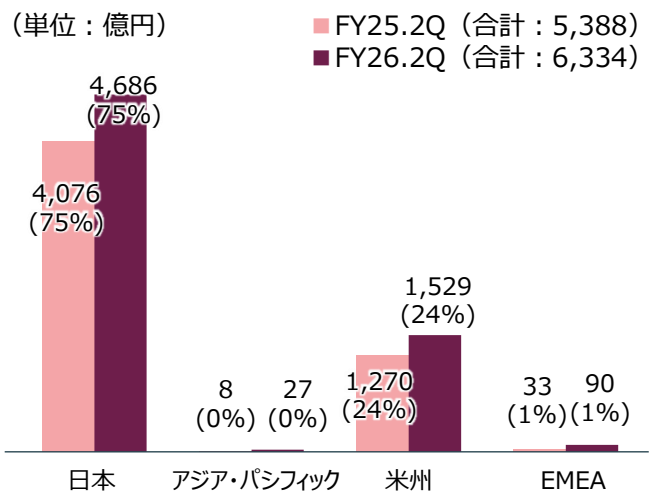
インダストリアル・ソリューション*

（単位：億円）



航空・防衛・宇宙

（単位：億円）



(*)FY25実績は、2026年4月1日付の組織再編の影響を2025年度に遡り反映した金額を記載

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

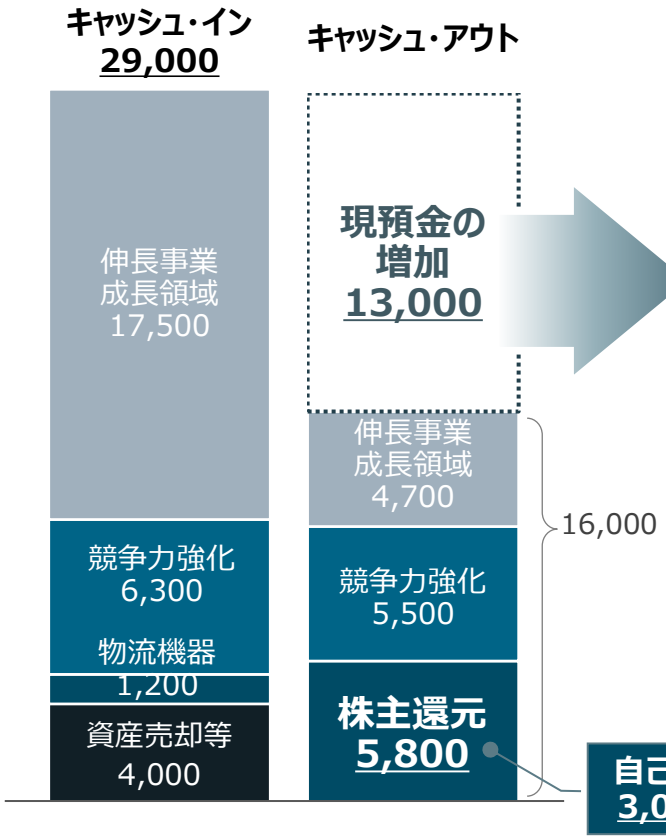
補足資料　キャッシュアロケーション

三菱重工

- 伸長事業を中心に入金が先行し、現預金は大幅に増加
- 超過キャッシュ・イン分は、高水準な受注残の履行に充当するとともに、27年度以降に稼得するキャッシュと合わせ、高利益体質に向けた成長投資を遂行していく

キャッシュ・アロケーション見通し（24事計期間：FY24～FY26）

（単位：億円）



FY27以降の受注残の履行／成長投資の遂行

■ **高水準な受注残の履行**：必要な運転資本に充当 ※FY26.2Q末前受金残高 2.6兆円

■ **高利益体質に向けた成長投資の遂行**：現時点で見込む主な投資は以下のとおり

生産能力増強	GTCC	高温部品生産能力、等	5,000億円規模
	防衛	装備品生産能力	2,500億円
	原子力	新設も見据えた大型加工設備更新、等	1,000億円
	商船	高密度艤装船／船体ブロック建造能力	1,000億円
	エンジン	データセンター向け発電用エンジン生産能力	1,000億円
	共通	ものづくり・人的基盤強化	
	⋮		

領域拡大：共通基盤の活用／複数事業分野の組み合わせ(シナジー)

R&D：次世代製品(GTCC、無人機、…)、レジリエンス関連技術、コアパーツ・コアコンポーネント強化、他

M&A ／ 出資

FY27以降稼ぎ続けるキャッシュ

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

ITOの取り組み状況

三菱重工

全体最適

- **生産プロセスの高度化**
  - ➡ 工程改善や自動化等によるリードタイム短縮
    例) GTCC新設生産能力倍増
- **領域拡大の具体化**
  - ➡ 共通基盤の活用／複数事業分野の組み合わせ
    例) 排熱を利用した蒸気生成システム
- **データセンター事業の北米市場展開加速**
  - ➡ データセンター関連機器の受注
  - ➡ ターボ冷凍機の北米認証取得
- **外部パートナリングの積極的な活用**
  - ➡ PFN*1との資本業務提携

領域拡大

事業ポートフォリオ最適化

三菱ロジスネクスト
事業譲渡完了

ボンバルディア向けビジネス
ジェットTier１事業譲渡合意

目指す姿

高利益体質

成長への投資

Innovative Total Optimization

26年度事業利益見通し 6,000億円
（24事計公表値 4,500億円 以上）

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

*1 PFN: Preferred Networks

中長期の取り組み

三菱重工

2026 ‖ 2050

社会の変化

国際政治の不安定化

現実的なCN*1進展

技術のイノベーション進展

⋮

これまで想定していなかった
大きな変化

社会が求める価値の提供

三菱重工の役割

社会インフラ
産業機械
レジリエンス

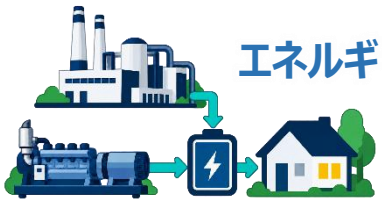
経済と環境の両立



安全・安心の実現



エネルギーの安定供給



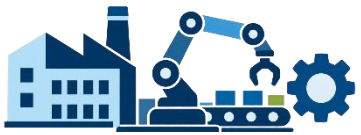
6つの事業機会



社会インフラニーズの多様化



BCM*2の強化



モノづくり産業基盤の再構築

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

*1 Carbon Neutral　*2 Business Continuity Management

MOVE THE WORLD FORWARD

MITSUBISHI
HEAVY
INDUSTRIES
GROUP

三菱重工